

平成29年度事業検証委員会にかかる意見一覧表

事業	No.	分類	意見	意見に対する取り組み方針等
①琴浦町の財政状況	1	質問	歳出について、法令的な義務的支出以外に、琴浦町自身が工夫して使える予算はどの程度あるか？	経常収支比率91%が経常的な経費であるため、のこり9%（9億円）程度が積極的に使える予算です。
②商工業の振興	2	意見	育児休業は、まだ、男女共同参画の目標が達成されていないと思われるため、女性が活躍するために、行政的な支援は引き続き必要と思われる。	育児休業促進奨励金の制度継続も含めて検討を行います。
	3	意見	介護休暇制度も、今後、推進する必要がある助成対象としてはどうだろうか。	育児・介護ともに、働き続けるための大きな課題と捉えており、介護休暇への対応も含めて検討を行います。
	4	意見	少子化が問題となる中、鳥取県では死産率が増加しており、産みたい人が産める環境が必要である。	鳥取県の死産数については、近年明らかに増加傾向にあるとは言えず、むしろ、人工妊娠中絶率が全国でも高く推移しており、予防対策として知識の普及啓発を目的に思春期保健対策に取り組んでいます。
	5	意見	企業毎で待遇が異なる、働きやすい環境が求められる中、企業の福利厚生事業などが重視される。	労務改善協議会として福利厚生事業にも取り組んでいただいているところです。
	6	意見	労働組合の有無により企業の待遇の違いなどの影響がある。労働組合への拡充支援ができるのであれば、検討としてはどうだろうか。	福利厚生や従業員の処遇など、必要な情報提供を継続して行います。
	7	意見	働きやすい職場づくりのため各事業所へどのようなことをすれば、人が集まるのか聞き取りされてはどうか。	今後も継続して聞き取りを順次行います。
	8	意見	生き方、働き方が多様化しているが、そのビジョンがあれば、Uターンなどの人が集まるため、事業所への支援が必要。	事業所への支援については今後も行っていくこととしています。
	9	意見	求人活動支援について、若い世代の育成などの啓蒙活動が必要。教育地方債（仮）などもあれば、定住する子どもが増えるのではないだろうか。	地元に着着を持てるような取り組みを学校教育の中でも行っていただいています。継続して実施していただければと考えます。
	10	意見	定着率が悪いことについては、インターンシップなどを企業で取り組むことに対し支援をしてはどうだろうか。	インターンシップの受入を行っていただいている事業所もあるので、その状況などについて継続して聞き取りを行います。

平成29年度事業検証委員会にかかる意見一覧表

事業	No.	分類	意見	意見に対する取り組み方針等
	11	意見	介護施設不足による医療介護難民となる都市部のアクティブシニアを呼び寄せることが必要。(浦安市との連携も)	介護施設は、町内でも充足している状態ではないが、ヘルスツーリズムなど琴浦町で取り組んでいる介護予防事業等の紹介に努め、移住定住の一助としたい。
	12	質問	販路開拓支援の取組内容についてどんな取組をしているのか?	昨年度までは国内外、今年度からは国外の展示会出展に対し1/2(上限20万)を支援しているが、利用者の偏りがあるため見直しを考えたい。
③移住定住促進事業	13	意見	支援制度の周知・説明が不足しているように思われる。	関係者に対してさらに丁寧な説明を行います。
	14	意見	移住を考えている人は、リフォーム等を必要としないで、すぐに住める状態の空き家を求めている。畳の張り替えなどは町が行ってはどうか。	リフォームに係る経費助成等を行っています。今後は家財の処分などに対する支援なども検討していきたいと考えています。
	15	意見	移住定住については、県内、中部市町村間での取り合いになっているように思われる。	鳥取県中部定住自立圏構想では、鳥取県中部の自治体が一体となって人材確保などに取り組むこととしています。
	16	意見	山陰道などの整備により、通勤圏域が広がったことにより、仕事は町外で仕事することが可能となった。移住者と移住者の仕事をセットで考えなくても良いのではないか?その代わり個人負担、企業負担部分を軽減する施策を検討してはどうか?	鳥取県中部定住自立圏構想では、鳥取県中部の自治体が一体となって人材確保などに取り組むこととしています。
	17	意見	島根の方では、限界集落の空き家で学生がルームシェアを行い、空き家を活用している。利用にあっては、リフォームを大家が負担し、賃料でその費用を回収している。この制度は、空き家の解消、地域の活性化などのメリットがある。	今後の参考にさせていただきます。
	18	意見	都市部に出た方にPRするのは難しいのであれば、定住対象を絞り、琴浦町の魅力をPRするべきである。	地元への愛着を深めていただけるような広報活動を今後も行っていきたいと考えます。

平成29年度事業検証委員会にかかる意見一覧表

事業	No.	分類	意見	意見に対する取り組み方針等
	19	意見	小中学校を対象にした職場体験を行っているが、事業所と連携して、琴浦町の魅力をもっとPRできるよう見直してはどうか	職場体験学習の実施方法や時期などについて、学校と協議をしたいと思います。
	20	意見	本社が県外にあり、支社が県内にある事業所とふるさと回帰システムのような制度を一緒に取り組むなど、対象を特定した取組みを鳥取県などと取り組んではどうか？	鳥取県が実施する事業等とも連携して行っています。
④農業後継者育成対策事業	21	質問	新規就農者支援について、優秀事例があれば、紹介をいただきたい。	まだ、結果が出ていないところではありますが、養鶏など畜産部門を含め、H26年度から23名が就農されています。琴浦町と縁もゆかりもない方が県外から就農するケースもあります。
	22	意見	新規就農住宅について、リフォームが不要な町営住宅のような住宅地があると、受入れやすいのでは？	新規就農時の負担軽減策として、町営住宅のような住宅の確保や、他の自治体で行われている家賃助成やリフォーム助成といった制度を参考にして検討を行います。
	23	意見	普及所などの営農指導により、やりたい作物では難しいと指摘を受け、希望作物での農業ができないこともある。できる限り希望する農業ができるよう寄り添った指導が必要。	新規就農後の定住を促進するにあたり、研修中の技術習得や安定した農業経営を行うことは重要な要素であり、就農希望者の希望作物では指導者がいなかったり、収入が少なく生活が困難となることが考えられます。 本人の意向に加え、具体的な技術習得や経営収支を考慮し、本人が納得する形での研修計画及び就農計画の策定や指導を行うよう努めます。
	24	意見	ハウス梨などをリタイアすることを考える農家が増えている。農家は、元気うちに若い後継者に技術を伝えたいと考えている。今後の仕組みづくりに期待する。	梨生産部との意見交換においても、リタイアする農家の技術、農地の活用について検討項目として上がっており、引き続き、生産部等と検討を行っていきます。
	25	質問	350万円/年の目標設定はどの程度の農業規模（面積）なのか？かなりハードルが高いように思われる	【後日回答（別紙のとおり）】

平成29年度事業検証委員会にかかる意見一覧表

事業	No.	分類	意見	意見に対する取り組み方針等
⑤ことうら健康寿命延伸活動	26	意見	「健康寿命日本一」と目標を掲げているが、スローガンでは無く目標として、達成状況をしっかり把握すべき。	町の健康寿命については、国等における算定方法と異なる方法で算定されており、他市町村が公表する健康寿命と単純に比較し順位をつけられません。具体的に1歳延伸することを最終目標に掲げ、その達成のために必要な指標をKPIとして定め、事業の達成状況の把握に努めています。この結果をさまざまな機会を通し町民に発信することにより、目標達成を目指す機運の醸成を図ります。
	27	意見	運動習慣について、町職員が主体となって取り組んでもらいたい。（岩美町では、昼休憩の2分間で体操を実施している）	毎日昼休憩の「ラジオ体操」を全職員が行っています。また、年間を通し町主催の各種スポーツ大会に参加し健康づくりに取り組んでいます。
	28	意見	事業所と町との間で、協定を締結していると思うが、検診受診率を上げて、社保から国保への移行後の病気の治療となることにより負担が大きくなることを防止しては。	町では、社保から国保への移行後の町の医療費負担の増大リスクを軽減するため社保加入者への人間ドックの実施、退職前の55歳になる者への人間ドック費用の助成を行っています。今後は上記の事業をさらに推進するとともに、事業所が主体的に健康経営に取り組める環境の整備を進めるよう検討し、働き盛り世代への健康増進を図ります。
	29	質問	健康寿命76.3歳の算定方法は？	人口の中で介護認定を受けた方を対象外として、平均寿命の算定方法にて算定したものです。
	30	質問	受動喫煙の観点で、公民館での禁煙の取り組み状況は？	今後、追跡調査を行います。 【後日回答（別紙のとおり）】
	31	意見	足腰、認知症予防のために、「けん玉」を使った取り組みも検討してはどうか？子どもと祖父母間でのコミュニケーションが向上する等のメリットも考えられる。	町の認知症を含む介護予防については、鳥取大学医学部と連携を図り事業の推進を行っています。今後の事業メニューを検討するにあたっては鳥取大学医学部との意見を踏まえながら科学的根拠（エビデンス）の高いメニューから順に取り入れていくよう考えています。ご提案の「けん玉」も含め、あらゆる視点での検討を行い、効果的なメニューの提供に努めます。

平成29年度事業検証委員会にかかる意見一覧表

事業	No.	分類	意見	意見に対する取り組み方針等
	32	意見	働き盛りの世代への支援として、仕事前、仕事後に運動のできる環境づくりが必要。倉吉の市民プールを利用することなどの補助なども考えてはどうか？	ことうら健康ポイントラリー事業では、毎日の健康づくり活動、ウォーキングの距離の記録によりポイントを付与、溜まったポイントで商品券を交付しています。今後は、働き盛り世代により多く参加をいただくような事業所等が参加できる仕組みを検討し、費用助成以上に効果的な事業となるよう改善を図ります。
	33	意見	総合体育館が拠点のため、赤碕地区からは遠い。旧以西小学校に集落支援員を配置しており、旧以西小学校などにトレーニング器具を配置してはどうか。	総合体育館以外では、農業者トレーニングセンターにもトレーニング機器がございますのでご活用をお願いします。また、旧以西小学校でも集落支援員による運動教室の実施が計画されています。教室を実施する中で、トレーニング器機設置の需要を把握し、それをふまえて設置を検討します。
	34	意見	ご当地ラジオ体操を「ことうら弁」でつくるよう検討してはどうか。	運動習慣の定着に向け、新たなものを製作するのではなく、「ことうら体操」、「新わくわく琴浦体操」など今あるもののさらなる普及推進を進めます。
⑥カウベルホール運営	35	質問	有名なアーティストは、どのくらい年間に講演しているか？	有名なアーティストの講演回数は、即答できない。観客300人以上の講演等については、年に18回となっている。
	36	意見	出演者が音響なども準備する方法が主流である。8億もかけて改修するのであれば、町外の施設を利用した方が良い。	今後の施設のあり方検討の参考といたします。
	37	意見	次の改修までの期間で更新費用を割ると多額となる。立地のこともあり足が向かないため年1度しか利用しない。	今後の施設のあり方検討の参考といたします。
	38	意見	まなびタウンのホールを改修して利用してもよいのでは。2つも施設を抱える必要はないのではないだろうか。	今後の施設のあり方検討の参考といたします。
	39	意見	文科省、国交省、経産省の補助金が既存であり組み合わせた活用ができないか検討が必要。	今後の施設のあり方検討の参考とするため、さらなる情報収集に努めます。

平成29年度事業検証委員会にかかる意見一覧表

事業	No.	分類	意見	意見に対する取り組み方針等
	40	意見	文化芸術の必要性は見えにくいものであるが、町が文化・芸術を推進するためのビジョンが必要。	今後の文化振興施策検討の参考といたします。
	41	意見	ホールが果たせる役割について、専門的立場の第三者から意見をもらうことも必要では。	今後の施設のあり方検討の参考といたします。
	42	意見	PPP、PFI（民間のノウハウ）の活用による行政コスト削減なども検討してはどうか。	コスト削減方法についても情報を集め、今後の施設のあり方検討の参考といたします。
	43	意見	下郷地区だけでなく全町民が利用できる施設にしてもらいたい。	カウベルスマイル倶楽部においては地域を問わず広い範囲から参加していただいています。より多くの方の利用につながる様に、魅力的な事業の実施、PR等に力を入れて行きます。
	44	質問	外壁7,700万円の改修工事とはどのような内容か？	【後日回答（別紙のとおり）】
⑦その他 意見交換	45	質問	農業への支援だけでなく、漁業への支援はどのようになっているか？	後継者対策を含め規模は小さくなるが、支援を行っています。また、ギンザケ養殖への起業支援なども行っています。
	46	意見	検討会議などは、一段高いレベルにしようとするために行うもので、自分の立ち位置を見失いがちである。町民満足度は、高いと思われるため、それを町外に向けて発信することが必要。例えば、「町民自慢大会」などで町外の人たちへPRすることも必要ではないだろうか。	琴浦町の好きな場所などを写真で応募していただく「いいね！ことうら写真コンテスト」を実施しており、これらの作品を町の魅力発信に活用したいと考えています。また、近年は、SNSによる自由な情報発信が広がっており、町民の皆様それぞれが琴浦町への思いや魅力を個人レベルで発信していただくことが、町外の方へ向けた「住みよいまち」の大きなPRとなると考えております。